

畠貳ヶ所 本口燈明新

一所者 孫九郎右馬作

一所者 右衛門三郎跡

山一所 天涯山

東限 湖上 南限 毗沙門堂林

西北限 大道

右件田地山畠等者、重代相傳富墓庄預所分内也。然ニ所寄附意趣者、爲天下御祈禱、殊者爲鹿苑院殿御菩提、次者御爲領家現當二世、又者爲心職後生、致誠心奉寄進者也。於子孫有違亂煩者、永可_レ不孝仁。仍爲末代寄進之狀如件。

應永廿一年十一月二日

預所筑前守知職 在判

應永廿一年 甲午 紀元二〇七四

三月廿九日。足利義持、山城南禪寺領能美郡得橋郷等に諸公事以下を免除し、守護不入の地たらしむ。

らしむ。

【南禪寺文書】 山城 七六六

南禪寺領諸國所々別紙_{（目録在）}諸公事・段錢・人夫以下臨時課役事、任官符并度々御判之旨、所令免除也。早爲守護不入之地、不可有相違之狀如件。

應永廿一年三月廿九日

内大臣源朝臣 在判

【南禪寺文書】 爲後證所加判形也。 七六七

應永廿一年三月廿九日

（細川藩元） 沙彌 在判

南禪寺領目錄

一、遠江國初倉庄、同國新所郷

一、加賀國得橋郷佐野村・牛嶋村、笠間東保、符南神主職

一、播磨國佐野別名、大塩庄

一、備中國三成庄

一、但馬國池寺庄、小佐郷

一、尾張國杜庄、次栗田口二子墓田地等

右目錄如件。

應永廿一年三月 日

四月十九日。足利義持、倉光藤増丸に、石川郡倉光開發及び玉鉾郷内の地等を安堵せしむ。

【金澤市中文書】 七六八

（足利義持） 袖判

加賀國倉光開發岩内村、玉鉾郷内石丸名田壹町七段拾五代昌九段、中興保内田參町貳段、柏野參分貳、嶋田保内田五段事、早任相傳知行之旨、倉光藤増丸可領掌之狀如件。

應永二十一年四月十九日

十月七日。加賀守護富樫滿成、富樫伯耆入道に、加賀郡千木保内の地頭職を知行せしむ。

【南禪寺文書】 山城 七六九

應永廿一年

三三七

加賀國千木保内_{（府）}南御供田_{（號中）}地頭職事、可被_{（全）}知行之狀如件。

應永廿一年十月七日

富樫伯耆入道殿 富樫兵部大輔滿成 在判

十一月十五日。假掲 【三井大幡社棟札】 鳳至郡 七七〇

鳳氣至郡大屋之庄三井之大社

奉仕造立當社前殿神杉大幡伊豆牟比咩大明神

神主 因幡守宗久
座主 圓万坊源榮

大檀越藤原之光照 備中守
大檀越平次郎左衛門尉盛隆

應永廿一年甲午十一月十五日

并政所平九郎左衛門尉盛幸
大工 藤原宗長次郎兵衛尉

（この棟札は鳳至郡三井大幡社造營の際のものなり